

平成25年度 岡山県立西備支援学校 学校評価書（別紙）

学校経営目標等	具体的計画	今年度の達成基準	自己評価（最終）		
			達成状況	評価	総合評価
1 授業力・指導力（専門性）の向上	・授業や児童生徒の指導や支援に関わる校外での研修会や研究会に参加する。（他校の公開講座を含む）	・1月上旬までに、過半数の教員が参加をする。（1月中旬以降の県外出張を含む） 【調査】	・対象となる教員 68 名のうち、49 名が参加し達成率は 79.0%であった。学部・部によって差があり、学部ごとの達成率は 52.2%～100%であった。	A	B
	・学習指導案をもとに授業研究に取り組む。（略案可）	・1月上旬までに70%以上の教員（教諭・講師）が指導案を作成して授業を行う。 【調査】	・対象となる教員 61 名のうち、25 名が実施し、達成率は 41.0%であった。学部・部によって差があり、学部・部ごとの達成率は 27.3%～55.6%であった。	C	
	・児童生徒の学習にとって有効だと思う教材教具を学期に1つは開発・改良する。	・1月上旬までに70%以上の教員が、学期に1つ以上の教材教具の開発・改良を行う。 【調査】	・対象となる教員 64 名のうち、62 名が実施し達成率は 96.9%であった。学部・部ごとの達成率は 90～100%であった。	A	
2 情報の共有と発信	・各学部・部門の通信等で、必要な情報を分りやすく伝える。	・保護者から通信の内容についての肯定的評価が75パーセント以上ある。 【保護者アンケート】	・保護者アンケートによる肯定的な評価は、全体で85.4%であった。学部・部ごとの評価は、78.3%～95.6%であった。無回答は全体で7.3%であった。	A	B
	・児童生徒の情報の共有促進を図る。	・学部・学年単位で、ケース会等を1月上旬までに5回以上実施し、児童生徒のより確かな情報交換と情報の共有を図る。 【調査】	・学部・学年単位で5回以上実施した学部・部の数は、3学部・部であった。回数は、学部・部によって差があり、5～15回であった。	B	
3 安心・安全な学校作りの推進	・ヒヤリハットから学ぶとともに防止に努める。	・各部・学部で、1月上旬までに3回以上ヒヤリハットをもとにしたケース会（報告会）を開く。 【調査】	・いずれの学部も、3回以上ケース会を開いた。回数は、3回～5回であった。	B	B

（A：目標を上回った B：ほぼ目標とおり C：目標を下回った）